

平成31年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について

1 結果概況

「内容別の主な結果」の分析

- ・「教科の領域等」の「書くこと」においては、県の平均正答率を0.8ポイント上回り、一定の成果が見られる。
- ・「評価の観点」の「外国語表現の能力」において、県の平均正答率より2.3ポイント下回っており、課題となっている。
- ・「問題形式」の「記述式」においても、県の平均正答率より、2.3ポイント下回っており、課題となっている。

○ 向上した
変化なし

▼ 低下した

2 内容別の主な結果

過去の同学年 との成績比較

		平成29年度			平成30年度			平成31年度			経年変化	
		学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			全体正答率	
		草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	前年度の 「県との差」 の比較	
		8-A	8-A	0	8-A	8-A	0	9-C	9-C	0		
		59.4	59.7	-0.3	65.4	65.4	0.0	55.8	56.3	-0.5	-0.5	▼
		平均正答率(%)			平均正答率(%)			平均正答率(%)			県との差の比較	
		草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	経年変化	
教科の 領域等	聞くこと	63.4	63.1	0.3	73.3	72.9	0.4	61.4	62.1	-0.7	-1.1	▼
	話すこと	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	読むこと	58.9	59.4	-0.5	61.9	62.3	-0.4	53.8	54.6	-0.8	-0.4	▼
	書くこと	55.0	55.7	-0.7	63.3	61.8	1.5	52.6	51.8	0.8	-0.7	▼
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	74.5	73.2	1.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	外国語表現の能力	29.2	29.6	-0.4	64.9	65.2	-0.3	52.5	54.8	-2.3	-2.0	▼
	外国語理解の能力	60.4	60.6	-0.2	69.3	69.2	0.1	54.4	55.1	-0.7	-0.8	▼
	言語や文化についての知識・理解	59.0	59.4	-0.4	59.5	59.5	0.0	58.1	58.3	-0.2	-0.2	▼
問題形式	選択式	59.8	60.1	-0.3	65.4	65.4	0.0	55.9	56.4	-0.5	-0.5	▼
	短答式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	記述式	51.8	51.4	0.4	64.9	65.2	-0.3	52.5	54.8	-2.3	-2.0	▼

・指導が必要な項目

【外国語表現の能力】 記述式 平均正答率 草加市 52.5 埼玉県 54.8 差 -2.3 無解答率 21.9

問題の概要（書くこと）自分の考えに関する説明に基き、英語で主張を明確に書く

出題の趣旨（書くこと）主張を書くことができる

【言語や文化についての知識・理解】 平均正答率 草加市 58.1 埼玉県 58.3 差 -0.2

問題の概要（書くこと）英文の正しい語順を選ぶ（読むこと）英文が完成するように語彙を選ぶ

出題の趣旨（書くこと）正しく文を組み立てることができる（読むこと）文法についての知識と内容にあう表現を選択する

「外国語表現の能力」に関する指導について

分析

- ・「自分の考えに関する説明に基づき、英語で主張を明確に書く」については、正答率が52.5%となった。出題は1問で、回答は1文である。自由作文ではなく、前後の英文を読んで、それに続くような英文を書く必要があり、前後の意味を捉え、適切な英文を正確に書けるかが問われている。何を書いたら良いのか分からなかったのか、無回答率が21.9%と、どの問題よりも高かった。その理由としては、語順ミス、単語の選択ミス、スペルミス、全く英文が浮かばない等の誤答が予想される。

(草加市)

外国語表現の能力(書くこと)	正答率	無回答率
英語で主張を明確に書くことができる。	52.5	21.9

指導のポイント

- ・令和元年度より、中学校全学年に草加市副教材である「センテンスマラソン(英文を1,000文書く)」という冊子を配布し、「書くこと」の活動の充実を図っている。

【使い方】

- レベル1 英文を書き写す。
- レベル2 話した英語を書く。
- レベル3 自分の考え、思いを英語で表現して書く。

【授業での取組方法】

- 「話すこと(やりとり)」の言語活動の後に、自分が発話した内容の英文を「書く」時間を短時間でも設ける。
- 教科書を読んだ後、その内容に対する自分の意見を書かせる。(ある内容を聞いた後、意見を書かせる。)
- 基本文を導入後、まとまりのある文章を書かせる。(トピック:自分の夢、家族の紹介、日本文化の紹介等)
- 「話して書く」「読んで書く」「聞いて書く」等の領域を統合した指導が必要である。また、英文を読み合い、よりよく読み手に伝わるように書く指導も効果的である。

「言語や文化についての知識・理解」に関する指導について

分析

- ・「言語や文化についての知識・理解」に関する全体の正答率は、草加市58.1%、埼玉県58.3%であるが、「言語や文化についての知識・理解」の「書くこと」「読むこと」の問題において、平均正答率50%未満の問題は、以下のような結果であった。

「言語や文化についての知識・理解」 正答率50%未満の問題					
	問題の概要	草加市	埼玉県	県との差	
読むこと	英文が完成するように、()に当てはまる代名詞を選ぶ。	45.7	45.1	0.6	○
	英文が完成するように、()に当てはまる前置詞を選ぶ。	49.1	51.7	-2.6	▼
	英文が完成するように、()に当てはまる一般動詞を選ぶ。	42.3	39.1	3.2	○
	追加の情報を引き出す表現を選ぶ。	43.8	42.9	0.9	○
書くこと	現在進行形を用いた英文の正しい語順を選ぶ。	37.0	35.8	1.2	○
	前置詞を用いた英文の正しい語順を選ぶ。	41.7	42.0	-0.3	▼

指導のポイント

【代名詞の中で、定着が弱いもの】

me, mine, his, him, her, hers, our, us, ours, they, their, them, theirs などがあげられる。導入した後も、主格(they等)や目的格(them等)は、繰り返し教科書に出てくる語彙であるので、意図的に触れていく。所有代名詞であるhis, hers, ours, theirsは、出題率が低いので、意識的に授業で扱っていく。

【前置詞を含む表現】

・in the morning, at home, walk to, get up, look for 等、前置詞を含む表現は、まとまりのあるフレーズで活用できるように導入する。

【日本語との語順の違いで、定着が弱い表現】

・「家族の写真」……………the picture of my family

「机の上の本」……………a book on the desk

「音楽についての本」……………a book about music

「犬を連れた女性」……………a girl with a dog

は、単独で教えず、多くの例を挙げて、楽しくインプット活動をするとい。ペアで問題を出し合う。

(例) of, on, about でつなげて語彙を作るゲームをする。絵を見て、その絵について英語で言う、競争する。